

表 1 (平成29年度作成分)

## 基本構想・基本計画等作成調【総務委員会】

(〔事業費〕単位：千円)

番号	事業年度	所属	事業名	事業費	作成期間	目的	成果及び今後の対応等	成果品等の添付
1	H29	企画財政部 世界遺産推進室	高島炭坑 端島炭坑修復・公開活用計画	4,386	H27.5 ～ H29.12	「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録時にユネスコ世界遺産委員会から、優先順位を付した保全措置の整備計画及び実施計画を策定し、平成29年12月1日までに世界遺産センターに提出するよう勧告された。それに対応するため高島炭坑及び端島炭坑並びにそれらに関連した中ノ島炭坑について、修復・公開活用計画を策定する。	高島炭鉱跡保存管理計画（平成27年策定）の方針に基づき、高島炭鉱整備活用委員会において「高島炭坑端島炭坑修復・公開活用計画」を策定した。 今後は、本計画に基づき石炭産業の貴重な歴史を物語る高島北溪井坑跡、中ノ島炭坑跡及び端島炭坑跡を適切に保存するとともに学習資源・観光資源として活用し、また、後世に受け継ぐことに活用する。	あり (概要版)
2	H29	企画財政部 世界遺産推進室	旧グラバー住宅修復・公開活用計画	2,346	H28.7 ～ H29.12	「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録時にユネスコ世界遺産委員会から、優先順位を付した保全措置の整備計画及び実施計画を策定し、平成29年12月1日までに世界遺産センターに提出するよう勧告された。それに対応するため旧グラバー住宅について、修復・公開活用計画を策定する。	旧グラバー住宅保存活用計画（平成27年策定）の方針に基づき、景観、植生等の専門家の意見を聴取し、「旧グラバー住宅修復・公開活用計画」を策定した。 今後は旧グラバー住宅を適切に保存するとともに学習資源・観光資源として活用し、また、後世に受け継ぐことに活用する。	あり (概要版)



表 2 (平成30年度作成分)

基本構想・基本計画等作成調【総務委員会】

(〔事業費〕単位：千円)

番号	事業年度	所属	事業名	事業費	作成期間	目的	方法及び事業効果等
1	H30	企画財政部 都市経営室	基本計画策定費	8,206	H30.4 ～ H33.3 (予定)	中・長期的な視点から、長崎市がめざすべき方向性や将来の都市像、その実現に向けた施策等を示し、市政運営上の最上位計画として、各部局の横断的な取組みの指針とするとともに、行政のみならず市民等のあらゆる主体が一体となって取り組むための共通の指針となる次期総合計画を策定する。	<p>現行の第四次総合計画が平成32年度で終了となるため、平成33年度を開始時期とする次期総合計画を3ヶ年かけて策定する。</p> <p>平成30年度は計画策定に向けた準備として、本市の現状を把握するための基礎調査を行い、次期総合計画策定基本方針の検討を進める。</p> <p>その後は、次期総合計画策定基本方針を踏まえながら、議会や市民の意見等を広く取り入れた計画策定に取り組む。</p>
2	H30	理財部 資産経営室	公共施設マネジメント地区別計画の策定	2,997	H30.4 ～	全市的・経営的な視点から次世代に継承できる持続可能な公共施設へと見直す取組みとしての「公共施設マネジメント」について、その実施計画として「地区別計画」を策定する。	市民に身近な日常生活圏域を基礎とした地区ごとの公共施設のあり方などを示す「地区別計画」を順次策定し、今後の施設の適正配置を進める。